

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員32名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「鳥取の星空(4K リマスタリング版)を3月14日まで投影中です。3月17日(水)からは「よもやま学園天文部 ～春の星空編～」を投影します。感染防止につきまして、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

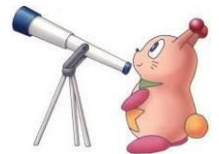
### テーマ番組「よもやま学園天文部 ～春の星空編～」3月17日から投影

「よもやま学園天文部」のメンバーは個性の強い3人組。春の代表的な星座、おおぐま座に隠された、二重に見える星のひみつに迫ったり、ちょっぴり悲しいおとめ座の神話、春の銀河の見え方や、たくさんの銀河団の中を星間飛行したりと、春の夜空ならではの紹介をします。

## 2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員32名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を32名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 3月の注目天体情報

#### ☆見ごろの星座

見ごろの星座は「かに座」です。名前は有名ですが、明るい星が少ないので星座を見つけるのは難しいかもしれません。場所は、ふたご座の明るい星「カストル」「ポルクス」の東側(左下)のあたりになります。かに座の中心(甲羅のところ)には「プレセペ星団」という星団があります。空の条件が良ければ肉眼でも見られますが、双眼鏡があるとより楽しめるでしょう。

#### ☆オリオン座の天体が見ごろ

冬はやっぱりこの星座。そう、「オリオン座」です。月明かりがないころは「オリオン大星雲」、月明かりがあるころは「ベテルギウス」「リゲル」といった明るい星がおすすめです。見どころいっぱいオリオン座巡りをしましょう。

#### ☆月のクレーターを観察

3月21日(日)は半月(上弦の月)です。半月のころは、月の表面に斜めから太陽の光が当たるので、クレーターの凹凸が強調されて観察に向いています。103cm大型望遠鏡で観察すると、月面の細かい模様もよく見えます。

#### ☆テレビ観望システム

「3密」軽減と天体観察会の魅力アップのために導入した「テレビ観望システム」。3密が予想される毎週土曜日の観察会は、103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。

